

議 事 録

件 名	久留米市セーフコミュニティ認証事前指導 審査員講評 (第22回久留米市セーフコミュニティ推進協議会)
日 時	令和4年12月22日(木) 15:40~16:30
場 所	えーるピア久留米 210・211研修室
出 席 者	別紙名簿のとおり
傍 聴 者	なし
次 第	1. 開会 2. 審査員、出席者紹介 3. 講評 4. 謝辞 5. 閉会
講 評 審 査 員 【ワン先生】	<p>久留米市がセーフコミュニティの取り組みを始めて10年ほど経過する中、取り組みを継続できるということは大きな財産だ。市役所内での部署間の連携、市内の様々な団体、組織間の連携、そして市民の皆様方の積極的な参画、この何れが欠けていてもこれだけの長い取り組みはなし得なかった。</p> <p>この数年、コロナ禍の中で非常に大きな壁が立ちはだかったと思うが、しっかりとした取り組みの仕組み、体制があったからこそ臨機応変に対応しながら取り組めた。その成果が怪我の減少などリスク要因を排除することができ、成果に繋がったと理解している。</p> <p>この久留米を少しでも安全な街にしたい、良い街にしたいという皆様の思いが成果として形になっている。安全が向上するだけでなく、市民の皆さんがこれからも住み続けたいと思う街になっていると感じた。</p> <p>来年の本審査に向け、アドバイスを3点お伝えする。</p> <p>①セーフスクールの取り組みを検討してはどうか。</p> <p>セーフスクールプログラムは、子ども達自身が学校を安全な場所にしていくという子どもが主役となる取り組み。そこに、保護者や先生、地域も一緒になってチームとして取り組むということが特徴。</p> <p>取り組みを通して、子ども達は自分達が学校を変えていくことを実感できるので、自己肯定感が非常に高くなる。そして、コミュニケーション力が高くなり、自分達の行動に責任を持つようになる。</p> <p>学校を安全にしていく力が身に着くことは、地域を安全にしていく力が身に付くことを意味するので、地域の安全にも繋がる。</p>

学校の安全対策委員会に十分その能力があると分かったので、このセーフコミュニティの取り組みの一部として、新しいアプローチにチャレンジしてみるのも一つの方法だと思い紹介した。

2. プレゼンテーション資料は、対策委員会の取組だけでなく、他の取組を加えた全体像を示すと良い。

現地審査では、申請書と上手く連動させ、対策委員会の取り組み以外の市や県、国の取り組みも伝えと、より効果的にセーフコミュニティの取り組みの意義を伝えることができる。

例えば交通安全教室などソフト面の取り組みをしていると、環境を改善せずに行動だけ変えようとしているのかと誤解される。しかし、信号の設置や道路のカラーリング、ガードレールの設置などハード整備をした上で交通安全教室に取り組んでいると思う。

物事の改善には3つの方向性がある。環境の改善と、規制などルール作り、教育。その3つの中における対策委員会の役割を示せると、それぞれが重なり合い、繋がりあい、取り組みが機能していることが伝わる。

3. データを基に、様々な視点で議論してほしい。

既に様々なデータを収集、分析し、活用しているが、これを更にどう活用しているかということが今後の大きな課題、チャレンジだ。

例えば、なぜ交通事故が起きているのか、なぜ若い人の自転車事故が多いのかを考えた時、事故データの背景にはどのような状況があるのか考えると、もしかしたら今の取り組みをさらにバージョンアップできるような情報が出てくるかもしれない。

例えば、交通安全教育をする場合に、事故が起きるのは子どもたちの自転車を運転する能力が低いからか、あるいは知識がないからか、もしかして学んで知っているけど交通ルールに沿った運転をしてないからか、によって交通安全教室の中身が変わってくる。

このようなことは、私たち外部の者からでは分からない。来年に向けて、皆さんにディスカッションされる時間があるといいと思う。

また、若い世代にも関わって欲しい。多様な世代が関わることができる仕組みになっているか、多様な世代の声が反映できているかということを検討し、取り組みを全ての世代で活性化して欲しい。

例えば、高齢者の安全対策委員会の取り組みに若い世代が関わるのはどうか。高齢者の声を聞いて、こういうことが不安だとか、こういうことで寝たきりになるという情報があると、だったら自分たちはこうできるよ、という新たな発案につながる可能性もある。

議 事 録

審 査 員
【チヨ先生】

当事者の高齢者だけではなく、色々な世代の方たちが色々な視点で問題に向き合えるような体制作りが、これだけ取り組みを進めている久留米市にはできると
いう可能性を感じた。

2点、来年の本審査に向けコメントする。

1. 継続的、分野組織横断的な取り組みを継続することが重要

行政の方が、地域の方、地域の各組織、そして関係組織と一緒にあって、コミュニケーションをとりながら共に街づくりを進めていくということが大切なポイントになる。

2. 小さな集団に着目することで、セーフコミュニティの成果がわかりやすくなる。

データだけでなく皆様の日頃の地域の情報などをうまく使うことで、データを見るだけでは分からない、優先度の高いサポートが必要な集団や地域はないか把握することにチャレンジして欲しい。

セーフコミュニティの取組は市民全員が対象だが、まず特定のグループから怪我を減らしていこうとすれば、データを収集し易いため取り組みの成果が見やすくなる。

例えば、交通事故が多い特定の交差点で一生懸命キャンペーンしても、市全体の交通事故件数を見ていては成果が見えにくい。しかし、この交差点での怪我が半分に減りましたと提示できると、取り組みの成果が分かりやすい。そういう意味でターゲットを明確することが、成果をより見やすくする一つの方法でもある

セーフコミュニティ推進協議会委員 名簿

(R4.12.22時点)

開催日時: 令和5年12月22日(木) 15:40~16:30

開催場所: エールピア久留米 210・211研修室 205学習室等

	団体等名称	氏 名	出欠
会長	久留米市	原口 新五	○
副会長	久留米市	橋本 政孝	○
委員	一般社団法人久留米市交通安全協会	村井 正隆	欠席
委員	浮羽地区交通安全協会	石井 勝則	欠席
委員	小郡三井地区交通安全協会	光安 勝憲	欠席
委員	久留米安全運転管理連絡協議会	永淵 俊毅	欠席
委員	久留米商工会議所	本村 康人	欠席
委員	久留米南部商工会	松田 シクエ	欠席
委員	久留米東部商工会	古賀 幹子	欠席
委員	田主丸町商工会	小林 整子	欠席
委員	久留米市農業協同組合	藤吉 ちよか	欠席
委員	にじ農業協同組合	後藤 マス子	欠席
委員	みい農業協同組合	赤司 久美	○
委員	三猪町農業協同組合	田中 ヤク子	○
委員	福岡大城農業協同組合	佐藤 愛子	欠席
委員	公益財団法人久留米市スポーツ協会	野田 秀樹	欠席
委員	久留米市私立幼稚園協会	丸山 景子	欠席
委員	一般社団法人久留米市保育協会	塚本 晶久	欠席
委員	久留米市小学校長会	小屋松 美和子	欠席
委員	久留米市中学校長会	古賀 一英	○
委員	久留米市小・中学校PTA連合協議会	大津 由香	○
委員	久留米市学童保育所連合会	福島 麻弥	○
委員	久留米市青少年育成市民会議	野田 憲治	○
委員	久留米保護区保護司会	渡邊 晃清	欠席
委員	久留米市老人クラブ連合会	寺崎 敦子	欠席
委員	特定非営利活動法人くろめ地域支援センター	上村 志保	欠席
委員	久留米市身体障害者福祉協会	坂井 恵子	欠席
委員	特定非営利活動法人久留米市障支連連連委員会	古賀 勝子	○
委員	久留米市女性の会連絡協議会	江上 昭子	欠席
委員	久留米市田主丸町地域婦人会連絡協議会	竹上 愛子	欠席
委員	久留米市北野女性の会	鐘ヶ江 一枝	欠席
委員	城島女性ネットワーク	中島 恵美	○
委員	久留米男女平等推進ネットワーク	近藤 祥子	○
委員	久留米市民生委員児童委員協議会	綾部 章子	欠席
委員	社会福祉法人久留米市社会福祉協議会	内川 裕子	○
委員	久留米市校区社会福祉協議会連合会	熊本 孝晴	○
委員	一般社団法人久留米医師会	植田 省吾	○
委員	一般社団法人浮羽医師会	鬼塚 一郎	○
委員	一般社団法人小郡三井医師会	田中 泰之	欠席
委員	一般社団法人大川三猪医師会	池田 悟	○
委員	公益財団法人久留米市生きがい健康づくり財団	吉田 茂	○
委員	久留米大学	石竹 達也	欠席
委員	聖マリア学院大学	日高 艶子	欠席
委員	久留米市ボランティア連絡協議会	松尾 賢二	欠席
委員	久留米市校区まちづくり連絡協議会	石橋 良光	欠席
委員	久留米市防犯協会連合会	大石 淳	○
委員	うきは防犯協会(田主丸支部)	倉富 義己	○
委員	久留米市校区暴力追放推進協議会連絡会議	渡邊 浩二	欠席
委員	特定非営利活動法人日本防災士会久留米支部	松浦 正晴	欠席
委員	久留米警察署	黒木 正晴	欠席
委員	うきは警察署	水野 慎一郎	欠席
委員	久留米広域消防本部	秋吉 弘章	○
委員	久留米市消防団	古賀 誠一	○
委員	久留米労働基準監督署	秋元 康志	○
委員	久留米児童相談所	仁比 寿美	○
委員	久留米市教育委員会	井上 謙介	欠席

56名中 出席23名 欠席32名